

医療用ロボット 「Da Vinci Xi」大活躍中!

ダヴィンチのメリット

痛みが少なく回復も早い!合併症のリスクも軽減



令和7年3月より、当院では医療用ロボット「ダヴィンチXi」を導入し、肺・前立腺・腎臓・膀胱・肝臓・直腸・胃など、さまざまな部位の手術に活用しています。ダヴィンチ手術の術者認定資格を持つ医師や、ロボット外科学会専門医が在籍しており、専門性の高いチームが中心となって執刀しています。

患者さんの痛みを少しでも和らげ、早期回復を目指すため、次世代の医療を担うロボット手術のさらなる進化に取り組んでまいります。

??赤十字クイズ



水の事故を未然に防ぐ方法、溺れている人を安全に助ける方法などを学ぶことができる講習はどうでしょう？

1. 救急法講習
2. 水上安全法講習
3. 健康生活支援講習
4. 幼児安全法講習

ヒント 日赤おおいたをよく読んでみよう！



正解者の中から抽選で
ムーミン ホームアトラクション
ランチバッグをプレゼント！

12/26(金)まで

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

応募方法

下記の1~4をご記入のうえ、12/26(金)必着で、郵便・FAX・またはWEBからご回答ください。

1. クイズのこたえ
2. 氏名・年齢・郵便番号・住所・電話番号
3. 本誌へのご意見・ご感想
4. 今後掲載してほしい内容

郵送 〒870-0033 大分市千代町2丁目3番31号
日本赤十字社大分県支部
事業推進課「日赤おおいた」クイズ係

FAX 097-533-6795

WEB 右の二次元コードから
ご応募ください。



No.67赤十字クイズのこたえ 3. 10,757人

日赤大分 検索

「日赤おおいた」のバッケンバーは、
ホームページからご覧になれます。

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society

大分赤十字病院
〒870-0033
大分市千代町3丁目2-37
TEL (097) 532-6181
FAX (097) 533-1207

〒870-0033 大分市千代町2丁目3番31号
TEL (097) 534-2236 FAX (097) 533-6795

大分県赤十字血液センター
〒870-0889
大分市大字佐隈717-5
TEL (097) 547-1151
FAX (097) 547-1141

献血ルームわったん
〒870-1198 大分市大字玉沢字楠本755番地の1
「トキハわさだタウン」3街区2階
TEL (097) 574-6822
FAX (097) 542-5777
献血予約専用フリーダイヤル
0120-489-150



大分県赤十字血液センターの 公式LINEがスタートしました！



このアカウントでは、大分県内の献血バスの運行スケジュールや、Web会員サービス「ラブラッド」のログインが可能となりました！

さらに、お得なキャンペーン情報などお届けします！
是非、お友達追加をよろしくお願いします！

日赤おおいた

No.
68



救急法講習で心肺蘇生やAEDの使い方を学ぶ児童

Topics

人の命をつなぐために、私たちにできること。

- 1 救急法講習
- 2 水上安全法講習
- 3 健康生活支援講習
- 4 幼児安全法講習
- 5 大阪・関西万博に赤十字が参加

Volunteer Voice

医療用ロボット「Da Vinci Xi」大活躍中！
大分県で献血できる場所
赤十字クイズ



Instagram



YouTube



ホームページ

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society

1 救急法講習

もし、目の前で人が倒れたら、怪我や急病になったらあなたはどうしますか？

心肺蘇生法やAEDの使い方など「いざというときに命を救う対応」を学ぶ講習です。日常や職場で役立つ知識・技術が身につきます。



2 水上安全法講習

いつでも、だれにでも起こり得る水の事故。未然に防ぐ方法と、溺れている人を安全に助ける方法を学びます。

水の事故予防、身近なもの（ペットボトルやナイロン袋）で自己保全、着衣泳（服を着たままの泳ぎにくさを体験）、溺者の救助などの実技を学びます。



5 大阪・関西万博に赤十字が参加

当支部からも職員を派遣

4月から開催された大阪・関西万博に、国際赤十字・赤新月運動がパビリオンを出展。全国の赤十字職員がスタッフとして参加し、当県支部からも2名が活動しました。

展示では、世界の人道危機と支援の現状を伝える映像が上映され、紛争地や災害現場で人命を守る職員の姿が描かれました。現場での葛藤や決断がリアルに伝わり、「人道とは何か」「自分にできることは何か」といった問い合わせが来場者の中に自然と沸き起るような内容でした。

参加職員は、「来場者が真剣に自分にできることを考え、メッセージに思いを込める姿が印象的でした。『東日本大震災の支援、ありがとうございました。』といった感謝の言葉を直接寄せてくださる方もおり、赤十字が人に寄り添い、心に届く活動をしていることを実感しました。その意義を改めて見つめ直す貴重な機会となりました。」と振り返ります。



スタッフとして参加した大分県支部職員



世界の人道危機に触れる半球型ドームシアター

人の命をつなぐために、私たちにできること。

3 健康生活支援講習

高齢期の健康管理や、高齢期を健やかに過ごすために知っておきたい知識と技術、高齢者の介護技術を学びます。

高齢期に多い事故の予防と手当、介護の方法（車いすでの移動・食事・排せつ）、災害時における高齢者支援（災害時に役立つ技術など）について学びます。



4 幼児安全法講習

乳幼児に起こりやすい事故や病気をあなたは知っていますか？

乳幼児への心肺蘇生、AEDの使い方、異物除去、子どもに多い事故と病気・看病の仕方について学べます。

「子どものもしもに備える」保護者や保育関係者におすすめの内容です。



豊後高田市
赤十字奉仕団委員長
渡部 恵美子さん

ボランティアボイス
Volunteer Voice

豊後高田市赤十字奉仕団委員長として本社研修等に参加経験のある渡部委員長。どのような思いで赤十字奉仕団として活動しているのか取材しました。

Q どんな活動をしていますか。

A 豊後高田市赤十字奉仕団は、「命を守る」をスローガンに、赤十字の周知活動と防災・減災講座の開催に取り組んでいます。特に小さなお子さんのいる保護者の方や地域のボランティアの皆さんを対象に講座を行っています。

Q 活動を続けていてよかったこと

A 「命を守る」をつないでいく活動に取り組む中で、たくさんの方々に出会えることです。防災講座の参加者さんが「家族の命を守るために、早速備えました」と笑顔で話すのを見るたびに継続の重要性を感じています。

Q 豊後高田市赤十字奉仕団を始めたきっかけは。

A 西日本豪雨時、私は子育てひろばで勤務していました。山の斜面から大量の水が流れている中、先に帰った親子が心配で、もっと早く声かけができればよかったと思い、大分県支部の防災講座を受講後、奉仕団に入団しました。

Q 赤十字ボランティアに参加して知ったこと。

A 今年の赤十字リーダー研修で自発的意思や自由な発想など「ボランティアだからこそ! できること」そして全国の奉仕団の活動の幅広さを知ることができました。学んだことを活かし、これからもわたしらしく活動ていきたいと思います。